

# 安倍内閣、国民無視の憲法解釈で大暴走

安倍自公政権は、7月1日にも集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を強行しようとしています。こうした安倍政権の姿勢は、国民の声を代表している国会を無視した大暴走です。

集団的自衛権の行使に関わるような重大な憲法解釈の変更について、国会と国民の議論を欠いたまま与党間の調整だけで閣議決定するという安倍総理の極めて乱暴な手法に、民主党は強く反対します。

民主党は他の野党とともに、こうした安倍政権と与党の乱暴なふるまいに対して、閣議決定の前に速やかに衆参の予算委員会の集中審議を開き、十分な議論をすべきとして与党に対して強く申し入れを行いました。



民主党代表 海江田万里

## 憲法は公権力の暴走を縛るルール

憲法は公権力が暴走しないよう縛るルールです。縛られている側の安倍政権が勝手に憲法の解釈を変えるなどというのはそもそも論外です。

歴代の内閣は集団的自衛権を行使するならば憲法9条を改める必要があり、現行9条では許されないとしてきました。一内閣が便宜的、意図的にしかも閣議決定だけで変更することは立憲主義・法治主義に反するもので断じて許されません。



■お問い合わせはこちら